

長泉町わくわく塾・伊豆八十八霊場巡礼報告書

報告者 小坂治善

年月日 2008年01月27日(日)朝雪のち晴

回数 第9回巡礼

参加者 34名(初参加者1名)

巡礼寺・順 第29番・龍豊院(りゅうほういん)

本尊・釋迦牟尼

山号 大川山

曹洞宗・(最勝院・末寺)

草創 1555(弘治元年)

- ・足利時代の末期、創建で当時は真言宗であった、1596年-1615年(慶長年間)最勝院、七世僧笑山により曹洞宗に改宗する。
- ・山門右手に東伊豆町指定の天然記念物の枝垂れ桜(樹齢400年以上)がある。

第30番・自性院(じしょういん)

本尊・薬師如来

山号 金沢山

曹洞宗・(最勝院・末寺)

草創・1504年(永正元年)

- ・室町時代に創立され、1579年(天正七年)大田道灌の末孫大田持広が、最勝院十一世、仙山長寿を招き曹洞宗に改宗する。
- ・現本堂は1872年(明治五年)に造営、1970年(昭和四十五年)に改修、鐘楼は1955年(昭和三十年)に造られる。

第31番・東泉院(とうせんいん)

本尊・觀世音菩薩

山号 東宮山

曹洞宗・(最勝院・末寺)

草創・1494年(明応三年)

- ・本尊は役ノ小角(えんのおずね)作です。
- ・北條家、家臣の金指筑後守が、寺を建て、観音像を安置したのが始まり、後に最勝院七世笑山により、曹洞宗に改修する。
- ・本尊を造ったと言われる、「役ノ小角(えんのおずね)」とは一般に「役の行者」といわれ修験道の初祖です

第33番・正定寺(しょうじょうじ)

本尊・阿弥陀如来

山号 見海山

浄土宗・(増上寺(東京・芝)・末寺)

草創・1181年~82年(養和年間)

- ・安徳天皇の時代、創立当初は真言宗で、来迎庵といった、1428~87(正長・文明年間)臨濟宗、建長寺派に属す、1598(慶長三年)浄土宗に属し正定寺と称して今日に至る。
- ・境内に薬師如来石仏像・三十三観音石仏像を祭祀
- ・境内の一郭に、灯台かと思われる、真っ黒な仏像があります

第32番・善應院(ぜんのういん)

本尊・十一面観世音菩薩

山号 稲取山

曹洞宗・(永明寺・末寺)

草創・1441年(嘉吉元年)

- ・室町時代、鈴木三位大臣の子孫、鈴木孫七郎繁時により創立、稲昌山と言い真言宗でした。1616年(元和二年)繁時から七代の孫、鈴木助七郎繁元が永明寺(富士市)七世大室存道德化を受け曹洞宗に改宗山号も稲取山・善應院と改め今日に至る。
- ・稲取は昭和20年米軍の空襲で壊滅状態になりました。善應院も被害を受けましたが直撃は受けず本堂は大修理、庫裏は改築しました。

距離 約20Km

タイム 下土狩5:30 - 鹿路庭峠 さくらの里(トイレ) - 伊豆高原 大江院付近交差点発7:40 龍豊院9:10~30 - 自性院10:50~11:00 - 東泉院(昼食)12:00~13:10 - 正定寺14:10~14:35 - 善應院(法話)14:45~15:05 - 踊り子会館(温泉)15:35~16:45 - 天城峠 三島 下土狩

温泉 河津町営「踊り子会館」1000円(団体割引で900円)

その他 昼食=東泉院(2000円) 法話=善應院(2000円)

冷え込みの厳しい早朝下土狩駅を出発。参加人員は新会員のOさんを含め34名。Tさんが寝坊したり、新入のOTさんは時間を間違え不参加になったり、何かと慌ただしい。

山の端が白み始めた頃、修善寺駅前を通り冷川峠へ進路をとる。白岩の縄文遺跡を右に見て冷川峠に近づくと

あたり一面の雪景色だ。車内に歓声上がる。さらに峠近くの竹林が雪の綿帽子をかぶり重たげにうなだれている。

冷川峠を過ぎると 雪が舞っていた。誰かがつぶやいた。「違う国に来たみたい！」 雪の舞う桜並木の道を伊東に向かう途中、さくらの里でトイレ。大室山のふもとにかなりの数のさくらの木が植えられている。

開花時期に是非訪れたい場所だ。途中、蠟人形館を左折する。庭に立っている象がひどく寒そうに見える。

7:20頃135号線に入るが雪はまだ降っている。さらに走り7:30予定どおり大江院近くの交差点に到着。雪のちらつく中、コンビニの駐車場を借り、朝の準備体操をはじめ。近くの木々の枝をリスが寒さを感じさせない速さで走り回っている。

体操後、国道を出発。歩いて10分、赤沢の白い観音様が立っている横を通過。今日はこの先で国道を離れ旧道に入る。いつもと違い車は極端に少なく、ただ雪がサラサラと舞っていた。しばらくして右手に「曾我物語発祥の地」とされる「椎の木三本」があった。

さらに歩く事50分、赤沢分譲地の入口広場で休憩。トイレが無いのが困る。

龍豊院に到着。入口右手に枝垂れさくららの古木(推定樹齢400年)のつぼみが少し膨らんでいた。ここで足を痛めたAさんが1人バスに乗る。

龍豊院を出発後15分で「ぼなき石」(ぼやき石)に到着。江戸城の築城石として切りされたが重すぎて運べず放置されたままだと言う。

..... まず最初は「ぼなき石」だ。これ

は伊豆急の「伊豆大川」駅の近くに放置された巨石だ。1.2m角で長さ2.5メートルの長さがある。重さ



雪のさくらの里

龍豊院



は相当重い。江戸城の修築工事の際には100人持ちの石が江戸城まで海路運ばれたそうだが、この石は切り出したものの重すぎて海辺まで降ろすことが出来ずに放置されたため、人夫が「ぼやい」たので名付けられたそう。

海辺まで降ろせざとさらっと書いたが、石が放置されている場所から海岸線までは少なくとも標高差で50メートルはある。しかも、傾斜は急斜面なのだ。よくもこんなところから下まで運んでさらに船で江戸まで運んだものだと思う。一隻の船に石を二つしか積みなかつたそうだから大きさも分る。

伊豆は石の産地で「伊豆石」と総称される石には城壁などに使用される溶岩を基とする安山岩系の「堅石」と、温泉の浴槽などに使用されている暗緑色の火山灰を基にした凝灰岩系の「軟石」に大別される。

「ぼなき石」は当然、前者だ。東伊豆町の指定文化財になっている。

路地裏旅行者 HP「伊豆のみち」より

45分歩いて休憩。目前に源泉の白い湯気が印象的な広場であった。

相変わらずノンビリとした旧道を歩く。たまに車が来ると「懐かしい」のへらず口。大きいカーブの遥か彼方に大室山が小さかった。さらに前進。南方の山頂に風力発電用の風車が見える自性院に到着境内に沢山のミカンの実をつけた木が数十本あった。

太田道灌の孫が寺の建立に貢献したとのこと。丁度、寺では法事で取り込み中。ご朱印帳をいただき、お経は境内で行った。



東泉院

また 娘さんが住職の後を継ぐとの事にて住宅を新築中だった。テーブルをお借りして昼食。出された熱いお茶がとても美味しかった。M会員らは寺の入

自性院を出て25分で135号線に出る。前方の洋上に三原山の頂に雪をかぶった大島がすごく近くに見える。

11:55バスより弁当をゲットし東泉院へ向かう。

東泉院の本堂に掲げられた大きな銀杏の一枚板に彫られた十二支と七福神が見事。これは近くに住む方が製作したそう。

また、本堂右手の壁に掲げられた戦没者の写真が41あり内1人は看護婦さんであった。合掌。本尊の正観音菩薩像は役の小角の作とのこと。

り口にある、老夫婦が営んでいる「金目鯛の煮付け」が美味しい食堂に行き、味噌汁のみ頂いてきたそうだ。

東泉院を後にして国道に出るが、この先には昔の非常に狭い「友路トンネル」がある。事故だけは避けたい講師の苦渋の選択で、この部分だけバスに乗車する。伊豆はまだまだ「歩き巡礼」の環境は未整備なのだ。

トンネルを通過、稲取港を見下ろすところで下車。135号線の下をくぐって急な坂道を歩いて稲取港魚市場に着く。道路をはさんで反対側につるし雛の館がある。沢山の雛がつるされている。最近雛を作る生地が不足傾向とのこと。

稲取魚市場で見事なキンメ鯛の荷捌きを見る。若いお嬢さんだ。相場を聞いてみると50cmクラスで5000円位との事。ここには昔、船を繋いだ「もやい岩」があった。

稲取港を一回りする感じで33番札所の正定寺に到着。本堂左手の境内に3m超の黒い大仏があった。これは昔、灯台だったらしい。

本堂の天井に書かれた寿の96種の文字がすごい。白隠禅師の寿の100字の掛け軸を思い出した。

ここから歩いて10分で32番の善應院に着く。住職を含めた全員で般若心経を唱和の後。法話を聴く。

「手のひらを合わせては、しあわせ 手の甲を合わせると、ふしあわせ」観音様は女性と考えているとのことのお話が印象に残る。非常に感じの良いお寺で、人柄もさることながら、お茶・甘いミカンも出してくれた。今回は全体的にいい感じのお寺ばかりで、当たり前と言えればそれまでだが、妙に感心してしまった。

今回はこれにて終了。満ち足りた気分でバスに乗り河津の「踊り子会館」に向かう。踊り子会館のお風呂は、広くキレイで泉質も良く、気持ちよく入浴。露天風呂でフッと上空をうかがうと、何と「ツバメ」がス～イス～イと風を切っているのではないか。ええ～、もう「ツバメ」と思いきや、実は「越冬ツバメ」だそうです。

湯上りののどにビールがうまい！恒例の？反省会を開く。窓外には早くも「河津さくら」が2輪・3輪と花を添える。来月の今頃は、物凄い観光客で溢れるそうだ。



瞬く間に出発時間。もう少し延長しては？の声もあちこちから……。バスの中で本日の印象・反省・今後を各自一言ずつ発表。心地よい揺れに眠りを誘われ、気づくと三島市内であった。数名が更に反省会の続きをするとのことで三島駅で途中下車。バスは下土狩駅に向かう

冷川峠付近の雪・吊るし雛・さくらと梅の花・水仙の花・踊り子会館のお風呂から見たツバメ、と一日で四季を感じることが出来た実り多い巡礼の旅でした。素晴らしいメンバーに多謝！



3 2 番札所 稲取・善應寺

今日一日の幸せに感謝しましょう。合掌